

佳作

きれいなふえの音

茨城県 日立市立油繩子小学校四年 八幡 絵里花

私は、地元の神社のお祭りのおはやしに入りました。今年で二回目になります。

去年は小だいをやったので、前からあこがれていたふえにチャレンジしました。

しのぶえはふいた事がなかったので、一から教えてもらいました。ふえの持ち方や指使いなどです。

最初は、音を出さずに指使いだけの練習です。学校で習っているリコーダーとはちがうので、あなをおさえるのは大変でした。

だんだん指使いをおぼえてきたので、次は音を出してみました。あまりいい音は出せませんでした。息のふき方にもコツがあるみたいで、音が低すぎたり、かすれてしまったり、または出なかったりと、とてもむずかしかったです。

それでも毎日練習して、しどう部のお姉さんたち

や友達がいねいに教えてくれたので、少しずつきれいな音が出るようになりました。

お祭りの前日は台風で大雨でした。お天気によっては中止になるかもしれないと言われて、心配になりました。明日は晴れますようにおいのりをしてねました。

本番の朝は、雨はふっていませんでしたのでほっとしました。ヘアメイクをしてもらい、はっぴを着ました。おびをむすんだら、気持ちもぎゅっと引きしまった気がしました。

お祭りは、海までおみこしをかついでいき、また神社まで引き返します。その間、交代でおはやしのえんそうがあります。夕方から始まる、ぼんおどり大会の時にもえんそうします。一日がかりです。

本番の目ひょうは、周りの人と合わせてきれいな音を出すことです。ドキドキするけど楽しみでもありました。

自分の出番になり、山車に乗りました。くもり空から太陽が出てきて、おうえんしてくれているみたいでした。私は一生けん命ふきました。えんそうが終わって山車からおりると、

「きれいな音出せているよ。」

と言われてうれしかったです。

一日終わるころにはくたびれましたが、とてもじゆう実した楽しい一日でした。

親切に教えてくれたしどう部のお姉さんやお兄さん、友達。毎日練習の送りむかえをしてくれたお父さんお母さんに感しゃしたいです。ありがとうございます。